

第 2 回「津波浸水想定検討部会」

＜津波シミュレーションについて＞

1 計算範囲及びメッシュ区分

津波シミュレーションの計算範囲は、表 1 に示すメッシュ区分にしたがい、沿岸域全体及び背後地（陸域）全域を最小 12m メッシュデータで作成したものである。各メッシュ区分の領域図を図 1 に示す。

今回の検討では、海域での津波高さを対象とし、3 次領域（108m メッシュ）で試算したものである。

表 1 メッシュ区分

メッシュ区分	メッシュの大きさ	備考
1 次領域	972m	最外側領域
2 次領域	324m	引継領域
3 次領域	108m	全域での検討領域
4 次領域	36m	引継領域
5 次領域	12m	詳細検討領域

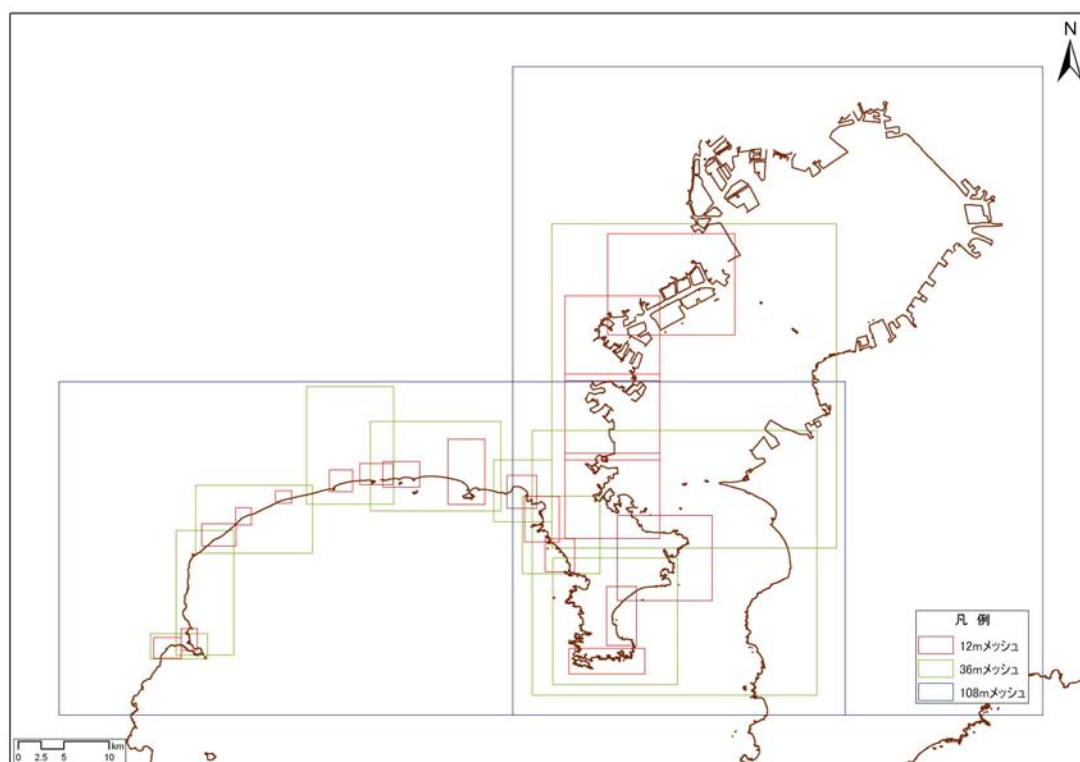


図 1 計算領域（3 次～5 次領域）

2 浸水予測の計算条件

2.1 潮位条件

本検討では、対象波は津波だけとし、風波・潮汐の運動は考慮しない。静水位を潮位として設定した。

潮位は、「津波・高潮ハザードマップマニュアル」に基づき、H. W. L.（朔望平均満潮位）を基本とした。具体的には、検討対象範囲が広範囲に及ぶことから、検討対象区間の H. W. L. の最大値を用いた。

予測計算時潮位：H. W. L.（朔望平均満潮位）

（横浜市～川崎市：HW. L. =T. P. +0. 90、その他の海域：HW. L. =T. P. +0. 85）

3 浸水予測結果

各ケースの最大水位上昇量をまとめると、表2のようになる。

表2 浸水予測結果

断 層	最大水位上昇(m)		津波高さ(m)		位 置	
	相模湾側	東京湾側	相模湾側	東京湾側	相模湾側	東京湾側
明応地震モデル (相田モデル KT3)	10.3	8.8	11.2	9.7	由比ガ浜 ～材木座	金田湾
元禄関東地震 (吉田モデル)	9.6	8.6	10.5	9.4	由比ガ浜 ～材木座	津久井浜